

我が家では毎日のお散歩は欠かせません。

雪がモリモリであろうと、雨がジャージャーであろうと「わーとこのいんころ」に黒豆のような丸い瞳で見つめられると「しょうがないなあ。遊びに行くか。」

今年の富山は雪が少ないですが、例年にご近所散歩でも雪がモリモリです。新雪を踏んで歩きます。足跡一つない雪野原をゴッポンゴッポン歩くのはめちゃくちゃ楽しい・・・が、気づいたときにゲッソリ・・・

行きは良い良い、帰りは怖い。「どうしてこんなに来ちゃったかな」



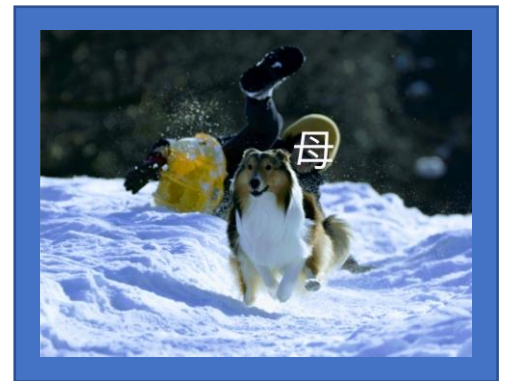
来ちゃったものは戻らないと帰れません。さっきまでのウキウキは Figure 1 わーとこのいんころもうありません。モサモサ長靴に入り込む雪にヒーヒー言いながらズコズコ戻ります。いんころはウキウキです。いつでもウキウキです。正直、雪なんてなくてもウキウキです。途中でおいていかれます。歩けず、野っ原で仰向けに転がる中年女子。ウツカリすると事案です。近所なのに通報されそうな恐怖と戦います。

でもやめられないんですよね。ついふらふらと遠くまで。

今年は、ご近所散歩用に「かんじき」を買いました。しかし、まだ出番が来ません。勤務の時の雪は大嫌いですが、かんじきを買った年の冬に積もらないなんて。(1月現在)

出勤時に憎しみを覚える雪すらも待ち遠しいものに変えてくれる。そんな「わーとこのいんころ」

ぜひ皆さんも日常の癒やしにモフモフ（と「かんじき」）の導入ご検討いかがですか。



※わーとこのいんころ=我が家の犬。ちなみに名前は「桃太郎」 金魚は「金太郎」 Fig 2 : 起こりうる事故の一例